

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	77.8%	22.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・重心児と重心以外児と、分けているが統合療育的視点から合同で行う時間も設けており、その時間の療育スペースの使い方をさらに検討する必要がある。 ・負担を減らすため重心のお子さんたちの移動を少なくするよう工夫している。 ・おもちゃなどをしまっている棚がスペースについて検討している。 ・定員やスペースは十分な広さがあると思います、もっと有効的につかえるようにしていきたい。 ・重心スペースは利用児1名に対し個別にマット、荷物棚が用意されている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	44.4%	55.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・制度運営上の必要数は満たされているが質を高めるために増員を検討したい ・欠席者の予測が困難なため、人員の調整が難しい。また重心や医ケアの子供達のケア及び送迎など看護師の業務範囲を他職種が実施していくのか具体策が必要。 ・医療的ケアが必要なお子さんに対して看護師が少ない。 ・スタッフ配置は日々検討している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	66.7%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の配置、物品配置などは利用児にわかりやすいように配置工夫している。ただし、利用児が増えていることもありさらなる、工夫の必要性はあると思われる。 ・必要なものや動きやすい環境、安全への配慮等が必要だと思う。 ・重心クラスと発達クラスの登園時間が同一のため、入園時間帯の玄関が車椅子と保護者と自立歩行児と荷物が混在しているので改善を検討している。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	66.7%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・拭いて外用のバギーで入室している ・子供の活動に合わせた空間としてはまだまだ改善が必要と感じるが、毎日清潔に保とうとしている。 ・優しい色彩の空間なので圧迫感がない。
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	66.7%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・特性に応じて自由に個別部屋を使用できる仕様ではないが、プログラムの工夫で個別対応に配慮している。 ・棚の位置など、レイアウトを工夫することでより良い環境づくりができると思う。 ・個別な対応が必要な時に別室での対応は出来ていると思います。看護師がいる環境等は今後の整備が必要。 ・運動課題と机上課題の部屋を別にしてるので、子供達も切り替えがしやすいと思う。
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	44.4%	55.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の従事職員については意識化されていると思われるが、業務改善に対しチームとして目標設定しPDCAサイクルを運用できる体制づくりが今後の課題。 ・先週からクラスごとにミーティングをするようになったため、今後はPDCAサイクルで業務が進んでいくことが必要だと思う。 ・情報共有や課題共有について、全員が参加できる会議の充実が必要。 ・毎日多職種が大人数参加できている点は良い。 ・時短勤務のスタッフが多いことから、開催時間の工夫が必要。 ・昼食時間を調整して参加しているスタッフもあり、参加しやすい方法の検討が必要。

リエプラッツ板橋(旧 浮間舟渡)
 児童発達支援
 令和7年度事業所における自己評価結果

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点
業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	33.3%	66.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・その場にいた人が保護者の希望を把握している状況のため、今後は他スタッフへの情報共有の充実が必要。 ・まだ開設して日が浅い事業所のため、評価アンケート等は今後実施が必要だと思う。 ・訴えが抽象的な内容もあり、今後は具体的な改善策につなげていくことが必要。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	55.6%	44.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の振り返り会議及び週一回の定例職員会議を設けてそこで課題改善についての話し合いを行っている。 ・施設長が個人面談を行い個々の意思を尊重していると思う ・
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	33.3%	66.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価の周知および具体的な改善を検討・実施する過程について、今後さらに明確化が必要。 ・利用者の予定変更ミスなどはダブルチェックにしており、対策が行われていると思う。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点
		10 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保されているか	77.8%	22.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・運営法人内の児童発達、放課後デイ部門主導で業務に特化した勉強会を開催し、またBCPや虐待・身体拘束などの必須研修も共通で開催、オンデマンド受講できるよう工夫している。 ・看護師、療法士だけでなく、保育士や児童指導員向けの研修や、療法士向け研修の案内も保育士・児童指導員へ共有されるとより良いと思う。 ・オンラインや外部研修の情報はありますが、業務時間外での受講が中心のため、今後は業務内で受講できる体制が必要。 ・事業所単位での研修は、今後の実施が必要だと思う。 ・職員が研修を受ける環境は整っていると思いますが、研修報告や情報共有を行うことで、より資質向上につながると思います。 ・研修案内はあるが、夕夜間や休日、遠方開催もあるため、通常勤務の日中に参加できる機会があるとより参加しやすいと思う。
適切な支援		11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	77.8%	22.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・支援方針について、今後さらに統一を図るとともに、各クラスの話し合い内容も共有していくことが必要だと思う。 ・板橋と浮間舟渡が統合し、支援プログラムの内容や進め方について今後さらに話し合っていく必要があると思う。
		12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	88.9%	11.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ異なる視点で子供を見ているが、それを共有し統合していく仕組みの構築が必要だと思う。 ・児発管の方々がアセスメントし、子供の状態や保護者との面談を通して計画を考えていると思う。今後はその内容を共有し、課題に沿った支援や内容を全員で話し合っていきたいと思う。
		13 個別支援計画書を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	66.7%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・担当児発管のみでなく、他の従事者にも意見を聞き、個別支援計画に反映させている。 ・作成した計画の具体的な実践方法について、職員全体への周知を進めていけるとよいと思う。 ・発達クラスは個別支援計画更新前に、現在の支援計画の達成状況や今後の課題を話し合っている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点
保護者への説明等	14 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	66.7%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが支援プログラムや方針を記録ソフトに記載しているが、パソコン台数の関係で支援計画を確認できない時がある。 ・今後さらに共有を進めていくことが必要だと思う。 ・個別支援計画の作成内容を記録ソフトですぐに確認できている。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	11.1%	88.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・KIDSやGMFMなどの評価は今後の実施や、実施している場合は共有の充実が必要だと思う。 ・施設内でのアセスメントツールについて、今後共有を進めていくことが必要だと思う。 ・KIDSは実施している。 ・状況や評価、次の支援への引き継ぎなどをさらに共有することで、よりつながる支援になると思う。
	16 個別支援計画書には、児童発達支援もしくは放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援・放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の狙い及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	88.9%	11.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・「家族支援」「地域支援、地域連携」について、今後さらに充実を図っていくことが必要だと思う。 ・板橋からの利用者さんについても、家族支援や地域支援を順次更新することで、課題や支援がより明確になると思う。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか	77.8%	22.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、活動プログラムの確認、場面による一部変更、実施の振り返りを行っている。 ・その日のリーダーが主にプログラムを考えている。 ・一部の意見を中心に進めており、今後はより多くの意見を取り入れていけるとよいと思う。 ・クラス間での課題共有や次への支援方法などはできているので、入る人全員への周知を進めていけるとよいと思う。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	77.8%	22.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・現在模索中であり、今後の取り組みの充実が必要だと思う。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画書を作成しているか	88.9%	11.1%	・子供の状況や来所人数により活動を日々工夫しており、今後さらにインクルーシブな支援の充実を図っていくことが必要だと思う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、チームで連携して支援をおこなっているか	100.0%	0.0%	・日々の支援前に確認している。 ・共有の時間はあるが、送迎に出ているスタッフにも確実に共有できる工夫が必要だと思う。 ・ミーティング後に準備、共有が行われており、今後は送迎に出ている人達への共有方法の充実が必要だと思う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等共有しているか	88.9%	11.1%	・行えてはいるが、支援中の子供がいる中や休憩時間中に行うこともあり、今後はより良い方法の検討が必要だと思う。 ・振り返りは必要であり、休憩の確保やコンパクトな実施、支援後により詳しく話し合えると良いと思う。
	22	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	88.9%	11.1%	・クラウドによる運営支援ソフトを利用して記録をしている。 ・記録をさらに活用していくことで、より良い支援につなげられると思う。 ・記録ソフトの業務日報を活用し、写真でその日の活動がより分かりやすくなるようにしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断しているか	88.9%	11.1%	・モニタリングは常に行い、子供の状態や支援内容は変化に応じて柔軟に対応している。
関係機関や保健	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解したものが参画しているか	77.8%	22.2%	・新しい事業所のため、地域との連携は今後さらに充実していくことが必要だと思う。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	77.8%	22.2%	・新しい事業所のため、地域との連携等は今後さらに充実していく段階にあると感じる。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点
護 者 と の 連 携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	77.8%	22.2%	・並行して利用している保育所などと、個別に情報交換を行っている。 ・現在、連携を図ろうとしている段階にあるように思う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	66.7%	33.3%	・まだ対象となる児の支援経験はない。 ・これから行っていく予定。
	28	児童発達支援センターのみ回答			
	29	児童発達支援センターのみ回答			
	30	児童発達支援センターのみ回答			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか	44.4%	56.6%	・児発管の方は連絡を取り合っているようで、今後さらに周知が進むことが必要だと思う。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか	77.8%	22.2%	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	88.9%	11.1%	・保護者の心理や精神状態に配慮し、伝え方を工夫しながら課題共有を行う必要があると思う。

リエプラッツ板橋(旧 浮間舟渡)
 児童発達支援
 令和7年度事業所における自己評価結果

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点
保護者への説	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	22.2%	77.8%	・家族支援プログラムなどへの案内はもっと行っていきたい。
	35 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	88.9%	11.1%	・運営規定や契約時に文書で丁寧に説明を心がけており、今後はより分かりやすい説明方法について検討していくことが必要だと思う。 ・通常利用開始時は丁寧に説明していると感じる。施設統合に関する説明および対応については、改善が必要だと感じた。
	36 個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から計画の同意を得ているか	88.9%	11.1%	
	37 個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から計画の同意を得ているか			
	38 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	77.8%	22.2%	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	44.4%	56.6%	・今後、充実させるといいと感じる。 ・保護者会の開催や悩みの共有などの場を設けるとより孤立せずに生活できるのではないかと思う。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点
明 な ど	40	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	77.8%	22.2%	・施設規模でのトラブルシューティングや緊急対応の基準について、今後の明確化が必要だと思う。 ・連絡、報告などは比較的スムーズであり、今後は対応者や周知方法まで明確にしていくことが必要だと思う。
	41	定期的に会報等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	33.3%	66.7%	
	42	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	100.0%	0.0%	・個人情報共有や書き留める際にも丸抜きにするなど気をつけている
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	77.8%	22.2%	・出来るようになったことや課題の共有も踏まえて伝え順序などに気をつけている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	22.2%	77.8%	・行事などの計画はあるが地域への働きかけは行っていない。 ・今後、そのような場を設けられていけるとよい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	33.3%	77.7%	・統合後、各マニュアルは今後整備されていくことが必要だと思う。 ・自分自身も今後理解を深めていきたい。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	44.4%	56.6%	・BCPは策定しており、今後計画のもと訓練を実施予定である。 ・新しい事業所ではあるが、他の事業所との連携やフォーマット整備により、より行いやすくなると思う。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点
非常時等の対応	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	88.9%	11.1%	・児発の子供達の情報は通所開始時の書類で確認しており、今後は情報共有や変更確認の充実が望まれる。 ・情報の更新などがあり、その都度共有漏れがないようにしていきたい。
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	88.9%	11.1%	・アレルギーのコンタミへの対応について、今後さらに徹底していく必要がある。 ・食品の周知などは、視覚的にすぐ分かるよう工夫していきたい。
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	55.6%	44.4%	・研修は実施しており、今後計画のもと訓練を実施予定である
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか	33.3%	66.7%	・研修は実施しており、今後計画のもと訓練を実施予定である
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	100.0%	0.0%	・日々の振り返りで共有している。
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	44.4%	55.6%	・意識はされているが、研修機会は少ない。 ・必要だと思うので、取り入れて欲しい。
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	88.9%	11.1%	・身体拘束について施設でのガイドラインやフォーマットは、今後共有の充実が必要だと思う。 ・人権、身体の拘束、安全の確保など様々な観点から、その都度共有していくことが必要だと思う。